

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 3 区分
 【発行日】平成 18 年 9 月 14 日 (2006.9.14)

【公開番号】特開 2000-137590 (P2000-137590A)
 【公開日】平成 12 年 5 月 16 日 (2000.5.16)
 【出願番号】特願 平 11-215404

【国際特許分類】

G 0 6 F 3/12 (2006.01)
B 4 1 J 29/38 (2006.01)
G 0 6 F 13/14 (2006.01)
H 0 4 N 1/00 (2006.01)
 G 0 6 F 15/00 (2006.01)

【F I】

G 0 6 F 3/12 C
 G 0 6 F 3/12 D
 B 4 1 J 29/38 Z
 G 0 6 F 13/14 3 3 0 B
 H 0 4 N 1/00 1 0 7 Z
 G 0 6 F 15/00 3 1 0 H

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 7 月 31 日 (2006.7.31)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 複数のサービスを提供するために、複数のデバイスコントローラにより制御される周辺装置と通信する情報処理装置において、

複数の複合的なデバイスコントローラにより制御される前記周辺装置により提供される複数のサービスを示す情報を取得する取得手段と、

前記取得手段により取得したサービス情報に関連するサービスに対応するそれぞれのデバイスコントローラのコントローラ情報を認識する認識手段と、

前期認識手段により認識されたコントローラ情報に基づいて、実行すべきコマンドの処理を制御する制御手段と、

を備える情報処理装置。

【請求項 2】 前記コマンドはジョブスクリプトとして提供され、当該コマンドはジョブのスタートコマンドとエンドコマンドを含むものであり、

前記ジョブに設定される属性が前記複数のデバイスコントローラの機能の範囲内にあるかを判定する判定手段を備える請求項 1 に記載の情報処理装置。

【請求項 3】 前記ジョブスクリプトはパケットとして転送されるものであり、前記属性値は前記情報処理装置から周辺装置に対する宛先に対応するものである請求項 2 に記載の情報処理装置。

【請求項 4】 前記複数のサービスは、コピーサービスを含み、前記コピーサービスは、前記複数のデバイスコントローラの中のプリンタコントローラとスキャナコントローラに対応するものである請求項 1 に記載の情報処理装置。

【請求項 5】 前記複数のサービスは、コピーサービスを含み、前記認識手段により認識されるコントローラ情報は、コピーサービスのフィニッシング機能に関する情報を

含む請求項 1 に記載の情報処理装置。

【請求項 6】 前記取得手段により取得されたサービス情報に関するサービスのコントローラ情報を前記認識手段は認識する請求項 1 に記載の情報処理装置。

【請求項 7】 前記取得手段により取得されたサービス情報を表示部に表示する手段をさらに備える請求項 1 に記載の情報処理装置。

【請求項 8】 前記周辺装置は、前記周辺装置により提供されるサービスを管理する統括プログラムが供給され、前記統括プログラムは前記複数のサービスに対するアクセスレベルを設定する請求項 1 に記載の情報処理装置。

【請求項 9】 前記汎用プログラムにより制御されるユーザ ID を示す情報を取得する取得手段をさらに備える請求項 1 に記載の情報処理装置。

【請求項 10】 複数のサービスを提供するために、複数のデバイスコントローラにより制御される周辺装置と通信する情報処理装置における方法において、

複数の複合的なデバイスコントローラにより制御される前記周辺装置により提供される複数のサービスを示す情報を取得する取得工程と、

前記取得工程により取得したサービス情報に関連するサービスに対応するそれぞれのデバイスコントローラのコントローラ情報を認識する認識工程と、

前期認識工程により認識されたコントローラ情報に基づいて、実行すべきコマンドの処理を制御する制御工程と、

を備える情報処理方法。

【請求項 11】 前記コマンドはジョブスクリプトとして提供され、当該コマンドはジョブのスタートコマンドとエンドコマンドを含むものであり、

前記ジョブに設定される属性が前記複数のデバイスコントローラの機能の範囲内にあるかを判定する判定工程を備える請求項 10 に記載の情報処理方法。

【請求項 12】 前記ジョブスクリプトはパケットとして転送されるものであり、前記属性値は前記情報処理装置から周辺装置に対する宛先に対応するものである請求項 11 に記載の情報処理方法。

【請求項 13】 前記複数のサービスは、コピーサービスを含み、前記コピーサービスは、前記複数のデバイスコントローラの中のプリンタコントローラとスキャナコントローラに対応するものである請求項 10 に記載の情報処理方法。

【請求項 14】 前記複数のサービスは、コピーサービスを含み、前記認識工程により認識されるコントローラ情報は、コピーサービスのフィニッシング機能に関する情報を含む請求項 10 に記載の情報処理方法。

【請求項 15】 前記取得工程により取得されたサービス情報に関するサービスのコントローラ情報を前記認識工程は認識する請求項 10 に記載の情報処理方法。

【請求項 16】 前記取得工程により取得されたサービス情報を表示部に表示する工程をさらに備える請求項 10 に記載の情報処理方法。

【請求項 17】 前記周辺装置は、前記周辺装置により提供されるサービスを管理する統括プログラムが供給され、前記統括プログラムは前記複数のサービスに対するアクセスレベルを設定する請求項 10 に記載の情報処理方法。

【請求項 18】 前記汎用プログラムにより制御されるユーザ ID を示す情報を取得する取得工程をさらに備える請求項 10 に記載の情報処理方法。

【請求項 19】 ジョブに基づく複数のサービスを提供する周辺装置において、前記複数のサービスのそれぞれについて、当該サービスを提供するコントローラの機能を示す機能情報を管理する管理手段と、

サービスを要求するジョブを入力する入力手段と、

ジョブのスタートコマンドをエンドコマンドを認識する認識手段と、

前記認識手段がスタートコマンドを認識するのに応答して、前記入力手段により入力されたジョブに基づき、前記複数のサービスから一つのサービスを特定する第一特定手段と、

前記管理手段が管理する機能情報に基づき、前記第 1 特定手段が特定したサービスを提

供するコントローラの機能を示す情報を特定する第二特定手段と、

前記第二特定手段が特定した機能情報に基づいてサービスを実行する実行手段とを備え

、

前記複数のサービスは、スキャンサービスと、プリントサービスを含む。

【請求項20】 ジョブに基づく複数のサービスを提供する周辺装置における方法において、

前記複数のサービスのそれぞれについて、当該サービスを提供するコントローラの機能を示す機能情報を管理する管理工程と、

サービスを要求するジョブを入力する入力工程と、

ジョブのスタートコマンドをエンドコマンドを認識する認識工程と、

前記認識工程がスタートコマンドを認識するのに応答して、前記入力工程により入力されたジョブに基づき、前記複数のサービスから一つのサービスを特定する第一特定工程と

、

前記管理工程が管理する機能情報に基づき、前記第1特定工程が特定したサービスを提供するコントローラの機能を示す情報を特定する第二特定工程と、

前記第二特定工程が特定した機能情報に基づいてサービスを実行する実行工程とを備え

、

前記複数のサービスは、スキャンサービスと、プリントサービスを含む。